



園だより 2月号



和歌山市立西和佐幼稚園
園長 高石 知都
令和 8年 1月 26日

冷たい北風の中でも、木の枝の先には少し赤みがかかった新芽が小さく膨らんでいます。暦の上ではもうすぐ春を迎えます。周りの自然は少しずつ冬から春へと移り変わっていきます。いつも畑のお世話をしたり、作物を注意深く見ている子供たちは、自分たちで植えてお世話をしたブロッコリーやホウレンソウ、スナップエンドウなどが、実ると、収穫し、「美味しいもの作って。」と、持ってきてくれます。3学期も楽しく美味しい食育をしていきたいと思っています。

- ◎ 節分 今年は、2月3日(火)に幼稚園で節分の会を行います。節分は災難などを追い払うための追儺(ついな)という行事です。たくさんの幸せがありますようにと福の神を迎え、鬼(疫鬼や疫神)を追い出して今年1年の幸せを祈ります。
- ◎ 先日配布させていただいた学校評価における自園評価についての自園評価アンケートのご協力ありがとうございました。結果は、後日ホームページに掲載させていただきます。また、定期的にホームページに子供たちの様子や行事についての投稿、更新をしています。引き続きご覧ください。

体育館で「子供たちのしたいこと」を聞いてくれて、このグループは「ハンカチ落とし」をしました。

みんな今日はどうだった？楽しかった人！！ はーい。

この日は、<ドッジボール、だるまさんがころんだ、ポール遊び、ハンカチ落とし、鬼ごっこ>などをして遊びました。



遊び方知ってる？

一緒に遊んだ2日後、幼稚園の遊戯室に来てくれて、一緒に給食を食べました。

美味しいね。

今日のメニューは唐揚げと卵スープとごはんと牛乳です。

一緒に運ぼうね。ゆっくりゆっくり。大丈夫だよ。



5年生との交流を通して

今年度は、1学期から継続的に5年A組さんの児童たちと幼稚園のきく組さんの交流をしてきました。西和佐小学校の児童たちとは他にも1年生と一緒に遊んだり、6年生と交流もしてきましたが、5年A組さんとは、少しずつ交流を深め、仲良くなり、今では名前を覚え合ったり、「こんなところあるよね。」と、接し方までわかってきている友達もいます。

継続的な交流が始まったきっかけは、5年生が「幼稚園の子供たちと一緒に何かしたいんだよね。」と、言ってきたこと、一緒に田植えをしたことですが、それから、幼稚園のことを気にしてくれている児童は休憩時間に遊びに来てくれたり、園児たちに優しくしてくれたりと、途切れることなくかわり続けてきました。これは、幼稚園、小学校両方の職員の協力あってのことだと考えています。どちらも子供たちの気持ちを大切に、寄り添い合っているからだと思っています。3学期に入り、交流の密度は急接近しました。「一緒に幼稚園の子供たちがしたいことをしよう。」

「一緒に給食を食べよう。」この2つの大きな楽しそうなプロジェクトを掲げ、5年A組さんと一緒に進め、楽しい時間を過ごすことが出来ました。このような活動は、互いの職員が仲良くなり、信頼感を深め、子供たちのことを知り、気にし合っていくことで児童、園児を見守る目が多くなること、互いが子供たちにとっての良い環境となつて、子供たちの安全や育ちの手助けになるのではないかと考えています。また、これから地域にも出かけて様々な体験をさせていただき、地域の皆さまのご理解も得ながら、子供たちにとって楽しい体験をゆっくりと進めていけたらと考えています。